

令和元年度 自己評価アンケートまとめ
 社会福祉法人ほどがや ゆめっことつか

職員による自己評価(抜粋)

- ・合併に伴って日々の利用者は増えたがスペース的に問題は感じられなかった。
- ・通常活動内容に関しては利用者像からあまりバリエーション豊かに行なう事が難しかった。
- ・急激に利用者が入れ替わった為外出活動が行えなかった。
- ・個々の利用者の問題に関して対応を行なってきたが改善できない事ばかりであった。
- ・支援級との連携が全く上手く出来ずやり取りが家族頼みになってしまった。
- ・完全送迎を始めたことで家族との話が少なくなってしまうように思われた。
- ・避難訓練が全曜日で行なうことが出来なかった。
- ・面談に時間をかけ対応することが出来た。
- ・急な合併によってご家族からの理解が得られていなかったことで不満が上がってしまった。

保護者による評価(抜粋)

- ・相変わらずご意見欄にほとんど何のコメントも頂くことが出来なかった。
- ・年度末に急に合併したことで全くゆめっことつかを理解する事が出来ないまま利用に繋がってしまい不明点ばかりだった。
- ・児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会については不要。



事業所内での分析

| | |
|--|--|
| <p>【共通点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併の説明不足による家族との行き違い。 ・マニュアルに対して開示や説明がきちんとなされていない。 ・面談にしっかりと時間をかけて助言や支援を行えている。 ・活動プログラムにバリエーションがあまりない。 ・バリアフリー化が適切なされていない。 | <p>【相違点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に相違はほとんどない。 |
|--|--|

事業所の強み

- ・職員が児童の福祉分野に長く従事している為制度に対してある程度知識を持っているので家族の相談に乗ることが出来る。
- ・職員が辞めずに長く働いている為児童の特性に対して理解が深く支援が長期にわたって一貫して行なえる。
- ・職員配置が手厚いので個別対応を取る事がたやすく安全面においても配慮しやすい。

事業所の改善点

- ・重度の児童が多く、部屋が1ルームなので1人が不安定になって声を出してしまうと他児が影響されてしまう。
- ・完全送迎による家族との連携が薄くなってきている。
- ・家族に対して事業所の説明が乏しかった為よくわからないとの意見が出てしまった。

事業所の改善への取り組み

昨年度の卒業生は9名、キッズとの統合によって異動してきた児童数が11名であったことでメンバー編成が大きく変わってしまいました。そのことで安全面を重視した1年になってしまいました。新型コロナの影響がいつまで続くか心配なところではありますが落ち着き次第令和2年度は昨年度とは異なり以前のような外食や余暇外出活動を充実させていきたいと考えています。職員配置はかなり手厚いが現状の利用者像でこの職員数では利用者を増やすことが困難な面もある為職員を増やしていくことも検討していきます。ハード面では今のままでは他児に対しての影響が大きい為何らかの形で改善を行なっていきます。とにかくご家族との話をする機会を少しでも設けることで相互理解を深められるようにしていく。その中で事業所に対する意見も言えるようにして利用者支援に繋げていきます。

| アンケート配布数 | アンケート回収数 | 回収率 |
|----------|----------|-------|
| 34 | 17 | 50.0% |